

プログラム

8:55 ~ 9:00	開会挨拶
9:00 ~ 10:30	一般演題口頭発表 1 A1-A6 (6 演題)
10:30 ~ 10:35	休憩
10:35 ~ 12:11	一般演題口頭発表 2 B1-B12 (12 演題)
12:11 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 14:00	一般演題口頭発表 3 A7-A10 (4 演題)
14:00 ~ 15:00	シンポジウム「病態基盤と生化学」
	S-1 ゲノム編集研究の現状と課題 真下知士 先生 (東京大学医科学研究所)
	S-2 アルツハイマー病の早期診断に役立つバイオマーカー 中村昭範 (国立長寿医療研究センター)
15:00 ~ 15:05	休憩
15:05 ~ 16:33	一般演題口頭発表 4 B13-B23 (11 演題)
16:33 ~ 16:45	休憩
16:45 ~ 17:45	一般演題ポスターセッション・質疑応答 P1-P28 (28 演題) 奇数番号 : 前半 30 分、偶数番号 : 後半 30 分
17:45 ~ 18:00	休憩
18:00 ~ 18:20	総会
18:20 ~ 18:30	閉会挨拶

9:00 ~ 10:30 一般演題口頭発表 1 A1-A6

座長：五十里 彰（岐阜薬科大学）・富田 毅（信州大学）

- A-1. NOTCH リガンド結合部位における新奇糖鎖の構造と機能の解析
*塚本 庸平(名古屋大学大学院)
- A-2. 脳におけるシアリダーゼアイソザイム NEU2 の機能解明
*旗 祥太(静岡県立大学大学院)
- A-3. in silico および生化学的研究を用いたポリシアル酸転移酵素の新規モチーフ探索と同定
*畑中 理菜(名古屋大学大学院)
- A-4. 分泌経路においてタンパク質の糖鎖修飾を規定する分子機構の解明
*齋藤 泰輝(自然科学機構)
- A-5. リーリンは神経細胞膜のスフィンゴミエリン量と、GPI アンカー型タンパク質の細胞膜上発現に影響する
*竹腰 祐斗(名古屋市立大学大学院)
- A-6. ピロリジノフェノン誘導体による分化神経細胞アポトーシス誘導機序の解明—Nr f2 経路の抑制を介した活性酸素種の産生亢進—
*酒井 優治(岐阜県警察本部)
-

10:35 ~ 12:11 一般演題口頭発表 2 B1-B12

座長：森 琢磨（信州大学）・橋本 美涼（岐阜大学）

- B-1. PDZD8 欠損マウス脳における脂質異常と脳機能不全
*眞木 穂香(名古屋市立大学)
- B-2. 脂質輸送タンパク質 PDZD8 によるリポファジー促進機構
*向江 凧(名古屋市立大学大学院)
- B-3. アルギニンメチル化酵素 PRMT1 は小脳顆粒細胞の発達を制御する
*伊藤 彩夏(岐阜大学大学院)
- B-4. PRMT1 欠損マウス脊髄におけるオリゴデンドロサイトの発達評価
*八木 敦(岐阜大学大学院)

- B-5. 構造感度解析を用いたドーパミン化学反応ネットワークモデルの理論解析
*澤田 駿(名古屋大学大学院)
- B-6. 6-OHDA による銅輸送関連タンパク質の分解促進における鉄イオンの関与
*谷 綾乃(岐阜薬科大学)
- B-7. リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける神経変性とグリア細胞活性化の分子機構
*徳永 柊(名古屋市立大学大学院)
- B-8. ピロリジノフェノン誘導体によるミクログリアの活性化機序探索
*服部 純大(岐阜薬科大学)
- B-9. ATF6 活性化によるメラニン合成抑制作用機構の解明
*櫻井 愛弓(岐阜大学大学院)
- B-10. メチルトランスフェラーゼ SET8 による TGF- β シグナル制御機構の解析
*橋口 咲良(名古屋市立大学大学院)
- B-11. 脱ユビキチン化酵素 USP7 による Twist の安定化を介したがん細胞の運動能制御
*中垣 春奈(名古屋市立大学大学院)
- B-12. ミャンマー植物由来化合物による HRI 活性化を介したストレス応答性転写因子 ATF4 誘導機構の解析
*山中 翔悟(名古屋市立大学大学院)
-

13:00 ~ 14:00 一般演題口頭発表 3 A6-A9

座長：田丸 浩（三重大学）・神谷 哲朗（岐阜薬科大学）

- A-7. 生細胞内ホスファチジルイノシトール 4-リン酸を可視化する ORP9-PH 型蛍光バイオセンサーの開発
*阿喰 萌香(名古屋工業大学大学院)
- A-8. ケモオプトジェネティクスのための cis 型アゾベンゼン特異的人工抗体タグの創製
*宮崎 友輝(名古屋工業大学大学院)

A-9. 白内障モデルゼブラフィッシュの構築

*石丸 敏成 (三重大学大学院)

A-10. Recq15 Knockout: 複雑なゲノム編集を誘導するための新戦略

*岩田 悟 (中部大学)

14:00 ~ 15:00 シンポジウム「病態基盤と生化学」

座長: 渡辺 秀人 (愛知医科大学)

S-1. ゲノム編集研究の現状と課題

真下 知士 (東京大学医科学研究所)

座長: 門松 健治 (名古屋大学)

S-2. アルツハイマー病の早期診断に役立つバイオマーカー」

中村 昭範 (国立長寿医療研究センター)

15:05 ~ 16:33 一般演題口頭発表 4 B13-B23

座長: 小林 孝 (愛知医科大学)・羽根 正弥 (名古屋大学)

B-13. Elesclomol による銅代謝異常とがん関連因子発現との関連性

*岡 真波 (岐阜薬科大学)

B-14. 膀胱がんに対する Gemcitabine/Cisplatin 療法の耐性克服に向けた AKR1C3 阻害剤の有効性の検証

*部村 鈴 (岐阜薬科大学)

B-15. 11α OH カウレン酸の抗癌活性の標的因子の探索

*江頭 享佑 (岐阜大学大学院)

B-16. 乳酸菌由来細胞外小胞の精製とその特性解析

*藤原 奈生 (岐阜大学大学院)

B-17. 可逆的シグナル分子制御を実現する人工非膜オルガネラの創製

*深谷 陽子 (名古屋工業大学大学院)

B-18. 蛍光センサー蛋白質 eLacco1.1 内包不織布の作製と乳酸応答評価

*加藤 柚奈 (名古屋工業大学大学院)

- B-19. 金属依存性プロテインホスファターゼ 1A 阻害剤の探索
鈴木 健友(中部大学大学院)
- B-20. NAD⁺代謝系の活性化による肝星細胞老化の抑制機序の解明
*坂 智文(岐阜薬科大学)
- B-21. フィッシャー症候群に見られる抗ガングリオシド抗体の特異性評価
*早川 開都(名古屋大学大学院)
- B-22. シアル酸特異的レクチン Siglec-7 と酸性多糖との相互作用解析
*森下 沙世(名古屋大学大学院)
- B-23. *Candida glabrata* の N-アセチルグルコサミンキナーゼの同定
*山田 梨緒(三重大学大学院)
-

16:45 ~ 17:45 一般演題ポスターセッション

- P-1. デアミノノイラミン酸 (Kdn) 含有糖鎖の検出プローブ開発
*増山 ふみ(名古屋大学大学院)
- P-2. 糖転移酵素 GnT-III を制御するタンパク質の探索
*林 鈴音(岐阜大学大学院)
- P-3. Kdn シアリダーゼ活性における金属イオンの影響の解析
中川 貴博(名古屋大学大学院)
- P-4. Development of methodology for detection of “extracellular O-GlcNAcylation” and explore its biological functions
近藤 裕史(名古屋大学大学院)
- P-5. チェックポイントクランプ9-1-1のRAD1サブユニットとクランプローダーのRAD17サブユニットとの相互作用に関する構造生物学的研究
橋本 博(静岡県立大学)
- P-6. マルトビオン酸摂取による食事由来のカルシウム吸収促進効果
池田 奈未(中部大学大学院)

- P-7. 密着結合制御を目指した claudin-1 タンパク質の局在評価法の確立
*平野 奏(岐阜薬科大学)
- P-8. ヒト表皮由来 HaCaT 細胞における histamine を介した密着結合制御様式の解明
*加藤 由夏(岐阜薬科大学)
- P-9. エクソソームラベリング剤の開発
*横井 千夏(岐阜大学大学院)
- P-10. 生物種を超えたエクソソーム定量・品質評価法
*古川 紗帆(岐阜大学大学院)
- P-11. 細胞会合のための細胞表面修飾リガンドの溶液検討
森口 夏愛(三重大学大学院)
- P-12. 人工細胞膜への多量体タンパク質の再構成：G タンパク質と輸送体を例に
岡田 憲幸(三重大学大学院)
- P-13. 生細胞を原料とした巨大リン脂質ベシクルの調製
星 拓光(三重大学大学院)
- P-14. β -アミノ酸はなぜタンパク質構成アミノ酸になれなかったのか？：計算化学的研究
小田 彰史(名城大学)
- P-15. 光合成細菌 Rhodobacter capsulatus 水素生成に関する代謝経路の比較ゲノム解析
*加藤 友真(三重大学大学院)
- P-16. 非アルコール性脂肪性肝炎の病態を駆動するマクロファージ活性化機構
金井 紗綾香(名古屋大学)
- P-17. 演題取り消し
- P-18. ベンジルシブトラミン及び代謝物の肝細胞毒性機序の解明
*江川 大祐(岐阜薬科大学)
- P-19. 肺腺癌の悪性化予防に向けたコーヒー機能性成分の探索
*于 雅晴(岐阜薬科大学)

- P-20. リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 の海馬神経細胞での局在と機能
*川瀬 宗之(名古屋市立大学大学院)
- P-21. オリゴデンドロサイトの発達における PRMT1 の機能解明
芝辻 奈那保(岐阜大学大学院)
- P-22. インフルエンザ A 型ウイルスの増殖制御に関連する糖脂質スルファチドの機能解析
*若林 佳輝(静岡県立大学大学院)
- P-23. マウス視交叉上核におけるポリシアル酸の日内発現変動解析
*妻鹿 崇(名古屋大学大学院)
- P-24. Presenilin 1 deficiency impairs $A\beta$ 42-to- $A\beta$ 40- and angiotensin-converting activities of ACE
*高 原(名古屋市立大学)
- P-25. 9, 10-フェナントレンキノン誘発分化神経細胞毒性におけるアルドケト還元酵素 103 の意義
*田中 京子(岐阜薬科大学)
- P-26. ビフィズス菌に対する宿主自然免疫応答
*伊藤 佑真(名古屋市立大学大学院)
- P-27. 乳酸菌 *Lactococcus lactis* における環状ジアデニル酸の機能
*甲斐 達己(愛知工業大学)
- P-28. 免疫細胞に存在するシグレック-11 の結合解析
*宮下 茉優(名古屋大学大学院)
-

* 日本生化学会中部支部奨励賞対象者